



1 研修の特徴

脳神経外科は、中枢・末梢神経に関わる小児から成人の疾患に対し、外科的に治療が可能な総合診療科である。

横浜市立大学附属病院脳神経外科には、脳腫瘍・脳血管障害・脊髄・小児・てんかん外科、機能脳神経外科・外傷などの疾患を担当する病棟グループがあり、1カ月ごとにその診療グループの一員になって勤務する。グループの患者約5から10人を担当し、手術・病棟・当直業務に指導医とともに従事する。

その研修の中で、脳神経外科の疾患を学び、患者の全身状態を把握し、診察方法を修得してほしい。また意識障害、神経脱落症状について鑑別、病態が考えられ、救急処置ができるよう指導を行う。希望により、各種脳神経外科学会のセミナー、学会に参加し、関連病院などへの見学も日程があれば対応可能である。また担当症例も学会で報告し論文指導も行う。

2 研修の内容

(1) 研修目標

① 一般目標 GIO

- 脳神経外科は外来主治医のうえに、チーム医療としてカンファレンスで方針を決定し、手術を行い、入院から退院までをみていく。診療グループの一員として、傍観者やお手伝いではなく、患者を診察し、診療方針をたて、手術に参加する。また研修医の必須手技を習得する。

② 行動目標 SBOs

- 意識障害の評価が適切にでき、緊急の対処法を上げることができる。
- 神経症状の評価ができ、鑑別疾患をあげ、診断および治療方針を上げ、診療録が適切に記載できる。
- 担当患者・家族と良好な関係を築き、症状・病態・問題点を詳細に把握する。
- 多職種カンファレンスに参加し、入院から退院、転院に至るプロセスを学ぶ。
- 研修医が行うことができる手技（腰椎穿刺、腰椎ドレナージ、動脈血液ガス採血、脳血管撮影時の動脈穿刺、小児・成人の静脈確保、中心静脈確保、結紮、縫合など外科的手技）を指導医のもとで行うことができる。
- 教科書や文献を引用し、治療方針に対するエビデンスを示し、院内カンファレンスや地方会や研究会などで発表ができる。

(2) 学習方法 LS

場 所：病棟・外来、シミュレーションセンター

- 講義（学生実習時のクルズス、後期レジデントレクチャーなど）
- 見学・on the job training（診察、処置）
- カンファレンス（病棟カンファレンス・症例検討会等）
- 血管吻合練習、縫合練習などはoff the job training

3

(3) 評価方法 EV

- 評価者：指導医・上級医
- 診療録・プレゼンテーション
 - 口頭試験・観察記録
 - EPOC・レポート



研修スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	カンファレンス 教授回診 外来診察 脳血管撮影	手術・病棟診察 グループ回診	カンファレンス 教授回診 病棟診察	手術・病棟診察 グループ回診	カンファレンス 外来診察 脳血管撮影 手術
午後	病棟カンファ グループ回診 抄読会 レジデントレクチャー	手術・病棟診察 グループ回診	脳血管撮影 病棟診察 グループ回診	手術・病棟診察 グループ回診	手術・病棟診察 グループ回診

4

指導体制

研修医は2名の医師で構成される診療チームに配属される。研修担当指導者が、研修中の指導責任者となる。指導医数10人（脳神経外科専門医 15人、脳神経外科指導医 8人、脳卒中専門医 6人、脳血管内指導医/専門医 1人、脊髄指導医 1人、脊髄専門医 3人、内視鏡認定医 2人、てんかん専門医 1人）

5

研修期間

- 1年目：1～2カ月 なるべく2年目での研修が望ましいと考えます
- 2年目：1カ月でも可能 研修内容は応相談可能です。

6

定員（同時期に受け入れ可能な研修医数）

- 1年目、2年目：あわせて1カ月に3名まで



7

問い合わせ先

担当：末永 潤

E-mail：suenaga@yokohama-cu.ac.jp

ホームページ：http://ycu-neurosurgery-recruit.medicalnote.jp/

